

1 調査日 平成 26 年 2 月 12 日（水）

## 2 調査の概要

大戸川ダムは、大戸川の氾濫により多大な被害が発生したため、大戸川のほか宇治川、淀川本川の洪水調節、流水の正常な機能の維持、新たな水資源の確保、発電を目的とする多目的ダムとして計画されましたが、平成 21 年 3 月に策定された淀川水系整備計画では、「大戸川ダムについては、利水の撤退等に伴い、洪水調節目的専用の流水型ダムとするが、ダム本体工事については、中上流部の河川改修の進捗状況とその影響を検証しながら実施時期を検討することとし、これまで進捗してきた準備工事である県道大津信楽線の付替工事については、交通機能を確保できる必要最小限のルートとなるよう見直しを行うなど徹底的にコストを縮減した上で継続して実施する。」とされました。

現在は県道 16 号大津信楽線の付け替え工事が進められているところであり、国土交通省が工事を実施しているダムサイト付近、県が実施している釜研橋付近および計画橋梁トンネル付近工事の進捗状況等について調査した。

### (1) 大津信楽線工事現場（ダムサイト付近）（大津市上田上）



### (2) 大津信楽線工事現場（釜研橋付近）（大津市上田上）



(3) 大津信楽線工事現場（計画橋梁トンネル付近）（大津市上田上）

